

# あやめカット仕上げ 施工の手引き

## 適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

平成16年 4月【初版】

平成23年11月【改訂】

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー技術部

## <使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	16kg 角缶	約 80~106 m <sup>2</sup> /缶
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg 角缶</u>	<u>約 75~100 m<sup>2</sup>/缶</u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg 角缶</u>	<u>約 80~106 m<sup>2</sup>/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> ( <u>ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ</u> )  <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> ( <u>□…数字</u> )  <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> ( <u>△…英字、○…数字</u> )	アクリル共重合樹脂 水性仕上り塗材	20kg ハール缶	約 7 m <sup>2</sup> /缶

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m<sup>2</sup>/セット)

## <主な施工道具>

- ・ リシンガン(口径 4~6mm)※
- ・ マスチックローラー (ジョリパットローラー JR-20 : 9インチ) 又は、  
金ゴテ
- ・ あやめローラー (ジョリパットローラー JR-30 : 7インチ)
- ・ 隅用ローラー (ジョリパットローラー JR-25)
- ・ ヘッドカットローラー (平面用：ジョリパットローラー JR-26)  
(隅用：ジョリパットローラー JR-27)
- ・ 灯油
- ・ コンプレッサー(2.2kW (3馬力)以上：1台使用の場合)※

※下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合。

## <下地調整>

下地は、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

## <あやめカット仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1' JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1" JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

配 合	JQ(W)-650シーラー	20kg
	清 水	3~4割
塗布量	約1.0kg/m <sup>2</sup>	
吹圧力	5~7kgf/cm <sup>2</sup>	
使用ガン	リシンガン口径φ4~6mm	

※左官業者の場合は、JQ(W)-650を無希釈で  
1.0kg/m<sup>2</sup>となるよう金ゴテにて平滑に塗布  
する。(下ごすり)

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材 配り塗り

<塗装業者の場合>  
・マスタックローラーにてJQ(W)-650が約2.0kg/m<sup>2</sup>となるよう、上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りする。(ムラ切り)

<左官業者の場合>  
・金ゴテにてJQ(W)-650が約2.0kg/m<sup>2</sup>となるよう均一に配り塗りする。

## 追いかけ (5分以内)

## 4. パターン付け

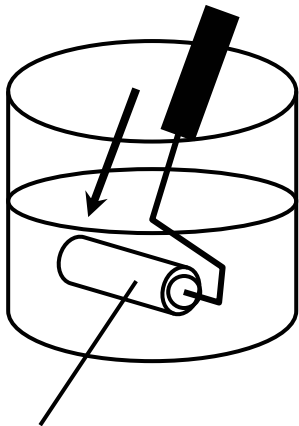
- ・ あやめローラー (JR-30) に充分 JQ(W)-650 を含ませる。(図-1) 次に、あやめローラーを横方向に転がし JQ(W)-650、のムラ切りをする。(図-2)
- ・ JQ(W)-650 が均一に配られていることを確認してから、あやめローラーを上から下にまっすぐ転がす。ローラーを少し引きずるような感覚でパターン付けする。(図-3)

## 追いかけ (5分以内)

## 5. ヘッドカット (押さえ)

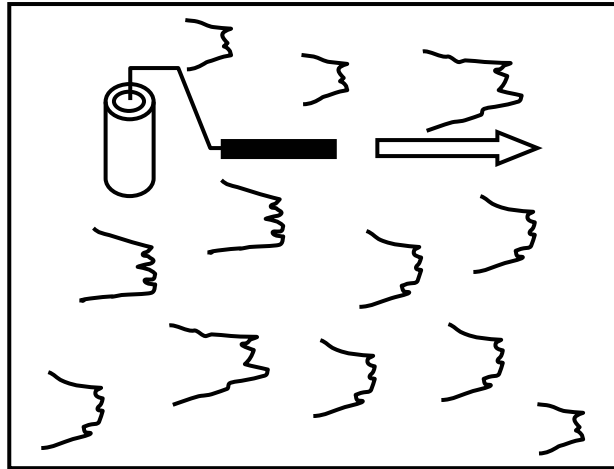
- ・ ヘッドカットローラー JR-26 (平面用) や JR-27 (入隅用) を灯油に充分浸してから JQ-650 模様の表面をヘッドカットローラーが転がるよう軽く押さえる。

<施工のポイント>



JR-30  
 (あやめローラー)

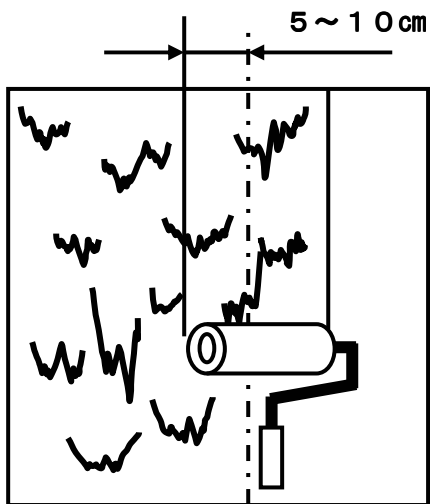
図-1



ムラ切り

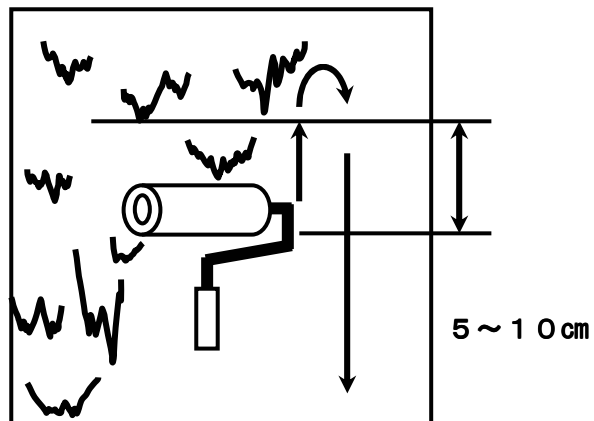
図-2

横の塗り継ぎ



- ・ 5~10cm 前のパターンと交差するようにローラーを上から下へ転がしてパターン付けを行って下さい。

縦の塗り継ぎ

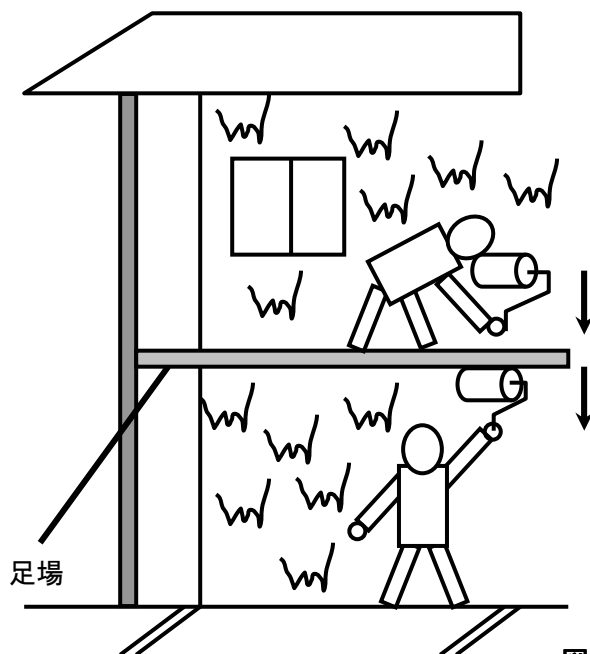


- ・ ローラーを5~10cm 上に戻してから下方方向に転がしてパターン付けを行って下さい。

図-3

JQ(W)650-09-01  
(JQ(W)-650 あやめカト)

※ あやめローラーJR-30が入らず、パターン付けが困難な入り隅などは、隅用ローラーJR-25にてパターン付けを行う。

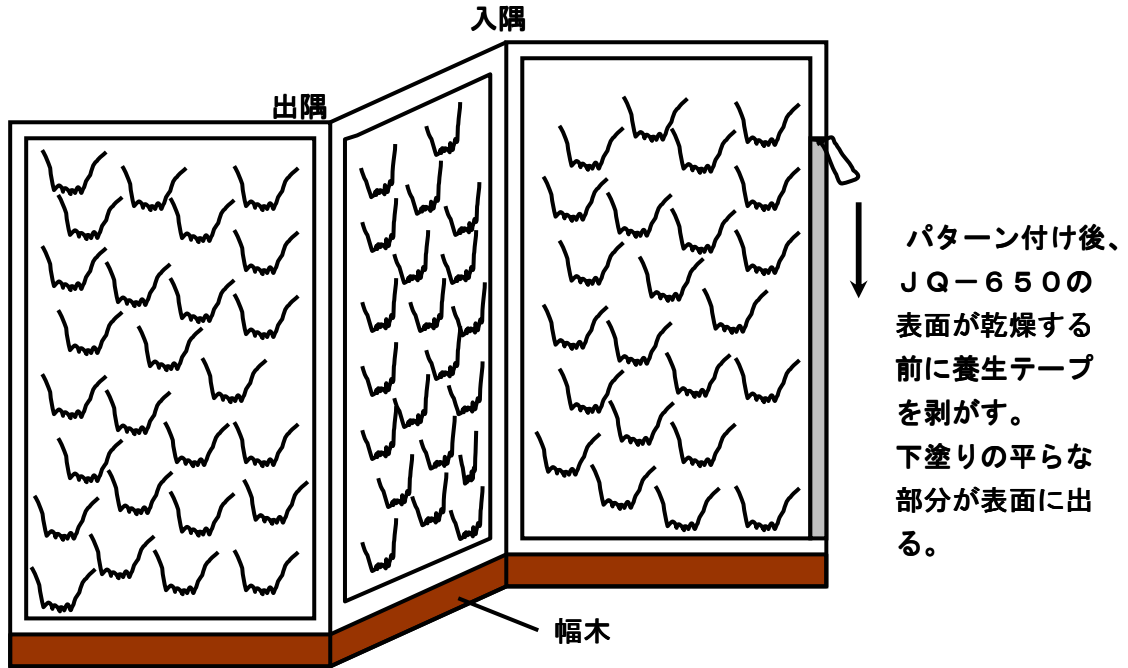


足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、足場の上と下で時間をあけないよう2～3人で組んで施工して下さい。JQ-650の表面が乾燥して皮がはる前にパターンをつないで下さい。(皮ばり後にパターン付つなぎを行うと、汚くなり継ぎが目立ちます。)

図-4

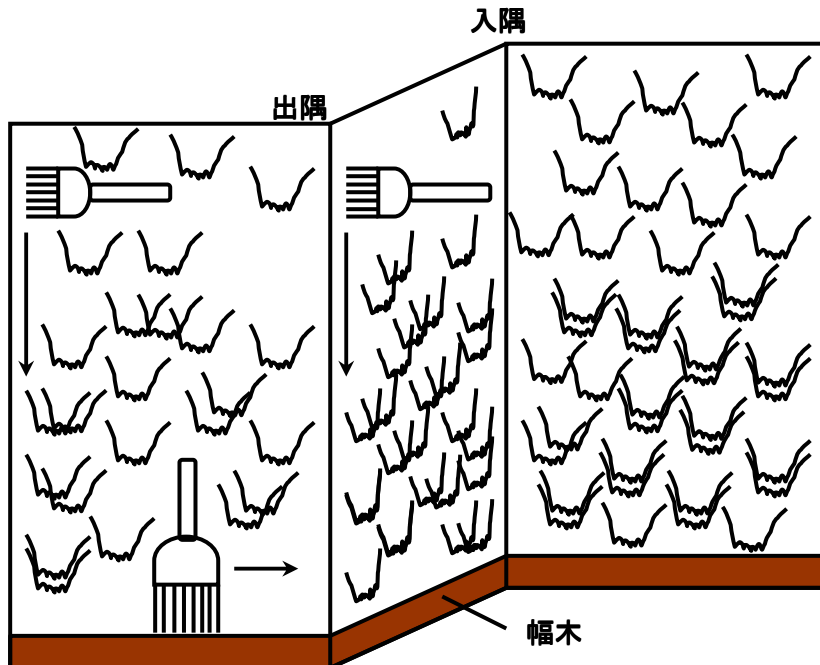
## ○入隅、出隅の処理方法

- ・入隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるかJQ-650が乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図-5）



### 化粧目地をとる工法

JQ-650を下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。



### 刷毛で押さえる工法

図-5

## <施工の注意事項>

- ・配り塗りはできるだけ均一にする。(パターンを均一にする為)
- ・塗布量が少ないとパターンが出ない場合があります。(一般的に塗布量が少ないと小柄な模様になり、塗布量が多いと大柄な模様になる為、塗布量に注意する。)
- ・あやめローラーJR-30にも JQ(W)-650 を充分含ませる。(あやめローラーにジョリパットを含ませずにパターン付けすると模様が小柄になり、きれいな模様ができません。)
- ・あやめローラーは、軽く引きずるような感覚で動かし、パターン付けする。力を抜いてローラーが転がるようにパターン付けしても模様は出ません。
- ・ヘッドカットローラーは、力を入れず上から下へ軽く転がす。(強く押さえると模様が潰れてしまいます。又、下から上へカットローラーを転がすと模様が逆立ってしまいます。)
- ・縦方向の塗り継ぎは、一部分に集中させず、ちどり状になるよう(図-6)にする。(足場部分では、塗り継ぎが集中しやすい為、ちどり状になるよう注意する。)

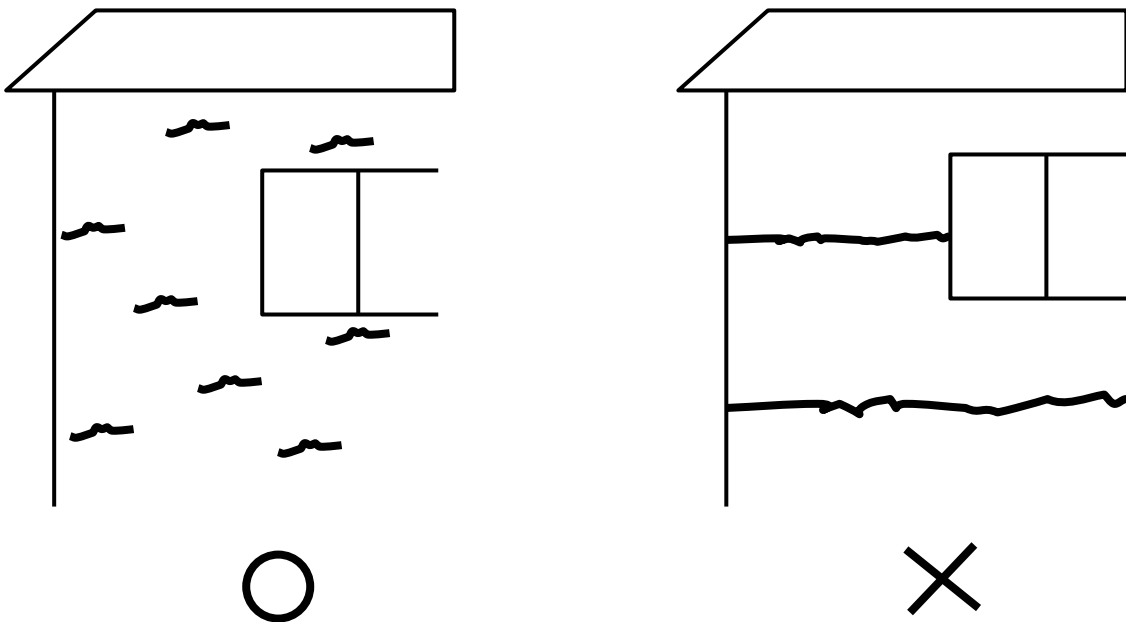


図-6



- ・大面積を施工する場合、JQ(W)-650の表面が皮ばりした後にパターンをつなぐと模様つなぎが汚くなる為、化粧目地をとるよう工夫する。(図-7)

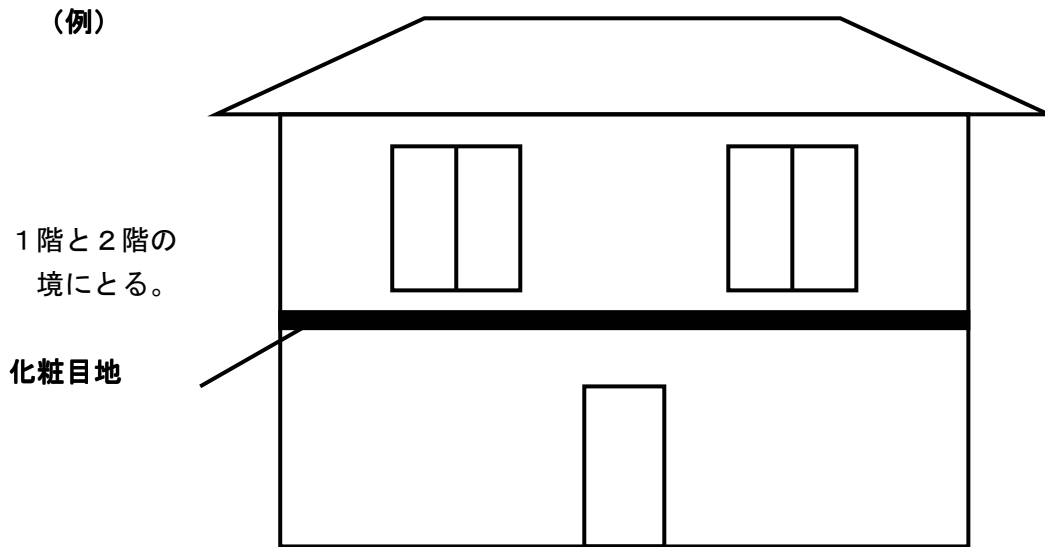


図-7

- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・JQ-650を使用される場合、気温5℃以下、湿度80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の5℃以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JQW-650を推奨します。その際シーラーは凍結防止のためJS-410をご使用下さい。  
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下ではJQW-650使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以上